

コラボ開発に活路見出す 企画提案に門戸広げる 和信ペイント

毎年8月に開催されるDIY HOME CENTERショーをホームセンターに対するプレゼンテーションの機会と位置付ける和信ペイント。今年は昨年引き続き、ホームセンター15社の女性スタッフ（DIY女子部）を迎えたワークショップを実施した他、一般来場者向けに昨年発売した新感覚水性ニス「ウッドアトリエ」をPRした。

ウッドアトリエは、ワックス感覚で使えるペースト状ニス他、水性ステイン、水性屋外用ステイン、マット調トップコートなど用途や仕上がり感に対応した新ニスブランド。ウェットティッシュで塗れる手軽さもあいまって、DIY初心者や女性ユーザーからの採用に期待する。

ニス製品は、全国のホームセンターの約7割のシェアを持つ同社の主力製品。女性層をターゲットにした製品開発で競合各社がシェア獲得を目指す中、瀬川義浩社長はウッドアトリエについて「防波堤としての役割に期待している」とコメント。今後もシェア堅持に手応えを見せる。



ワイヤーを使ったペイントDIYを実施
(DIYショー2019にて)

その一方で、同社が活路に期待するのが流通企業や小売企業との連携。プライベートブランド（PB）対応についてはかねてから一線を画しているが、製品及び販売に関する企画提案については積極的に対応していく方針。「市場を活性化させるためには、自社のみこだわらず、外部にも門戸を広げ、アイデアを広く取り入れていきたい」（瀬川社長）と近日中にもホームセンターと協業し、オリジナル製品の販売を開始する予定にあるという。

同社では、早速、来年のDIYショーに向け企画検討に入る計画。水性化対応も重要な施策に位置付ける。